

# 原子力規制庁長官との面談記録

日 時／令和7年12月18日（木）

14：55～15：05

場 所／原子力規制庁13階 F会議室

## （知事）

本日は、ありがとうございます。

8月4日付の、経済産業大臣から理解要請がございました、泊発電所3号機の再稼働について、回答を本日大臣に提出いたしました。

大臣の回答にあたりまして、貴職におかれまして、要望させていただく事項について、本日お持ちいたしましたので、適切にご対応いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

## （長官）

お預かりいたします。

## （知事）

あらためまして、お時間をいただきありがとうございます。

先日、泊発電所3号機の再稼働に係る政府方針に対して、同意する旨の判断をさせていただいたところでありますが、原発は何よりも安全性の確保が大前提でございます。

道民の皆様や関係市町村からいただきましたご意見、道議会でのご議論等を踏まえ、安全規制を担う原子力規制委員会に対して要請をさせていただきます。

お渡しした要請をご覧いただければと思います。

まず一つ目でございますが、国内外における最新の知見を収集し、新規制基準や法制度を絶えず見直していくなど、原子力規制の一層の充実・強化に不断に取り組むとともに、これからお伝えいたします事項も含め、原子力発電所の安全対策に万全を期していただきたいということがまず一点目でございます。

また、二つ目としては、規制責任を担う原子力規制委員会において、審査・監視体制の充実や強化を図っていただきたいということでございます。

三つ目として、設計及び工事計画認可や保安規定変更認可等について、引き続き厳格に審査・確認を行っていただくとともに、日常的に行われる原子力規制検査については、

長期停止後の運転再開であるということに特にご留意を頂いて、厳格に実施をしていただきたい。

四つ目として、新規制基準適合性審査や原子力規制検査の結果について、原子力規制委員会自らの丁寧な説明や窓口の設置などにより、国民の皆様の幅広い理解の促進に努めていただきたいということでございます。

五つ目でございます、原子力発電所のテロへの対応など、警備体制の充実・強化を図っていただきたいということでございます。

六つ目として、燃料等の事業所外運搬について、関係法令に基づき、関係省庁全体で安全性を確認していただきたいということでございます。

最後になりますけれども、こちらは防災関係になります、原子力災害対策指針について、これまでの自然災害の経験、最新の知見等を踏まえて継続的に改定して頂きたいというものでございます。

以上、7項目について要請させていただきましたが、泊発電所3号機の安全対策、また、泊地域の防災対策に向け、万全を尽くしていただきたく、お願いを申し上げます。

私からは以上です。

### (長官)

まず、東京まで足を運んでいただきありがとうございます。

ご要請いただいた7つの事項は、いずれも私どもの仕事をしっかりやるということにつきる部分がございますけれども、それぞれ安全対策、あるいはセキュリティの関係、それから防災と幅広くご要請をいただいております、いずれも私どももしっかりやっていかなければいけないというものだと思っておりますので、しっかり受け止めてまいりたいと思っております。

7つありますので、まず、安全対策については、基準をしっかり新しい知見に基づいて見直すこと、これは東京電力福島第一原子力発電所の事故の一番大きな教訓ですので、気がついたことは放っておかず、前に進めていくという姿勢でやってまいりたいと思いますし、それに基づいて、審査・検査を現場主義というのが私ども、山中委員長の一つのモットーでございますので、丁度、来週から福島にも行ってまいりますけれども、そういったこともしっかりやって、確認をしていきたいと思っております。我々のやっていることをしっかり、北海道の皆様はもちろんですが、国民の皆様に知っていただくというこ

とも大事ですので、地元には要請に応じて、ご説明に行かせていただいておりますけれども、自分たちが色々な情報を発信することも含めて、しっかりとわかりやすい説明に心掛けていく、これもしっかりやっていきたいと思っております。色々な新たな取り組みもさせていただき始めておりますので、委員長・委員・私ども実地の職員に限らず、色々な場でご説明していきたいと思っております。

テロの対応のことに言及いただいて、事業者の対策をしっかりやっていただくということがまず第一なのですが、当然、治安当局、警察、海保等との連携も必要になりますので、我々もその間に入ってしっかり連携をして、充実・強化を図っていききたいと思っております。

それから、運搬について言及をいただきました。

これは、話題にありました、燃料を運搬する港の話が念頭にあるかと思います。当然、サイトの中であろうが、サイトの外であろうが、運搬について安全をしっかり確保する、もちろん途中で襲われないことも含め、しっかりやっていくことが大事ですので、国交省とも連携をしながらしっかりと安全に運搬されるようやってまいります。

防災の関係ですが、部隊を持っているわけではありませんが、いざという時にどういう対応をしたら良いかということについての考え方は、指針という形でお示しさせていただいているので、知事から言及いただきましたが、新しい対応がしっかり充実していくように改定をしていくということにも取り組んでいきたいと思っております。

ご要請いただいたことについて、しっかり受け止めて頑張っていきたいと思っております。

**(知事)**

ご回答いただきましたので、これからも引き続き宜しくお願い申し上げます。